

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマートすがも		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 22日		～ 令和6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 22日		～ 令和6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スモールステップを第一に考える。	個別支援計画を元に支援していく。	会議の場を多くし、意見交換する。
2	保護者の満足度	サービス業の一環として保護者からの信頼を得ることができるようにニーズの把握や問題発生時の対応について優先順位を高く対応している。	保護者のニーズを優先するあまり、特に声が上がっていない事業（地域との交流など）について優先順位が下がっている。サポートの幅を広げる為にニーズのみを優先することを改める必要がある
3	利用定員やこどもの状態に対する職員の配置数	職員不足に対する事前に職員を充足させるために募集、面接をおこなっている。	既存の職員が勤続年数が長くOJTや研修など療育の質を高める取り組みが必要

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用についての理解	毎月の利用数の低下	利用日数の確認、変更等理解を深める
2	各職員の担当が統一していない	誰かがやるだろうという考えがある	当番制に効率よく順番に回す。
3	非常時の対応に関する評価が低い	取り組み自体は実施しているが情報開示、伝え方も弱く正しく理解されていない部分も大きい	非常時の対応について定期的な情報開示、事業所内掲示、集団プログラムの実施回数増加など情報伝達に努める必要がある。